

# 仲間

nakama

## 主な内容

- みんなで取り組む課題.....2
- 旗びらき、アンケート等のお願い.....3
- 全国部会・厚労省交渉.....4
- 京都市長選挙・福山弁護士懇談会.....5
- 日本高齢者大会・参加報告.....6
- 講演・高齢者の就労と貧困問題.....7
- 宇治分会定期大会、まちがいさがし.....8
- 日常のこと、今月のお月様.....9
- 京都の催事案内、十日彗びす.....10
- 行楽・毘沙門堂門跡から山科疏水.....11
- 編集後記、まちがいさがしこたえ.....12

## 発行所

全日本建設交運一般労働組合(建交労)  
京都 事業団・高齢者部会  
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地  
Tel 075-691-1007 Fax 671-1641  
Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp  
発行日 毎月15日 一部30円  
No.333 (2023年) 12月号



三千院近くの大原一望の展望台から 上林常哲

## みんなで取り組む課題

第1回支部執行委員会は11月8日に、11人の出席で行い、以下のとおり報告・討議しました。

### 1. この間の取り組みの振り返り

① 建交労全国事業団高齢者部会・全国交流集会

○ 10月14～15日、島根県松江市、支部より3名参加。

② ハローワーク前アンケート活動（11月6日）

○ 京都七条、伏見、宇治の各職安前で失業者向けアンケート活動を実施。京都総評との取り組み。

③ 建交労京都府本部との協議（11月6日）

○ 支部の組合会計、建交労会費に関して意見交換。

### 2. 各分会の取り組み

① ソーシャルサービス協会京都事業所分会

○ 年末一時金の団体交渉を11月22日開催予定。

② 宇治分会

○ 最賃引き上げに伴う時給改定。再回答を求める。

### 3. 支部定期大会の振り返り

① 開催状況

○ 出席は代議員16人、執行委員14人。委任状2名。  
○ 来賓は、府本部重村委員長、福山和人弁護士。  
② 大会内容。

○ 討論では、各職場の状況などの発言。

○ 全議案とも満場一致で採択。新役員選出。

### 4. 今後の取り組み課題との対応、ほか

① 建交労全国部会・厚労省交渉（11月10日、東京）

○ 厚労省へ高齢者雇用と介護制度改善の申し入れ。

② 日本高齢者大会（11月12～13日、東京）

○ 参加者1名で調整。

③ 京都事業団・新入団員説明会（11月28・29日）

④ 京都支部「新春旗びらき」

○ 1月17日(水)午後2時30分開催で準備に取り掛かる。

### 5. 京都市長選挙の取り組み

① 闘争体制Ⅱ京都支部市長選対策本部の立ち上げ

② 当面の活動

○ 11月8日(水)午後3時15分～、京都市長選挙懇談会。

○ 12月9日(土)午前10時～、決起集会（高齢者会館）。

○ 11月15日発行『仲間』11月号で民主市政の会「住民要求アンケート」と「選挙カンパ」の実施。

○ 次回執行委員会は12月20日(水)午後2時開催予定。

お知らせ

# 2024年 新春旗びらき

2024年 1月17日(水曜日)午後2時半～4時  
京都高齢者会館4階「ふれあいホール」

## 事業団で働くみんなのアンケート 民主市政の会・住民アンケート 京都市長選挙の選挙募金 にご協力を！

『仲間』先月号・先々月号に付けて  
まして、各種のアンケートやカン  
パ袋をお届けしています。

特にアンケートは、年内を締切  
としています。まだお手元にあり  
ましたら、お忙しいところですが、  
ご記入の上、ご返信ください。

## 『仲間』（1月号）原稿募集

新春にふさわしい、新鮮で楽しい紙面にとっています。  
皆さんの投稿をお願いします（写真もあればよろしく）。  
ご投稿は年内をめに、組合事務所までお寄せください。

- 《テーマ》
1. 年男、年女のご紹介と抱負
  2. わが家のお正月
  3. お正月の過ごし方
  4. 初夢・こんな夢をみたい、などなど



# 全国事業団・高齢者部会 厚生労働省交渉

## 11月10日 高齢者雇用と介護制度の改善申し入れ



▲要請書を手渡す高木部会長

▼三浦介護制度委員長



11月10日、建交労高齢者・事業団部会は、厚生労働省へ高齢者の雇用問題、介護保険事業に関する要請書を提出し、交渉を行いました。京都支部から3名が出席しました。

ソーシャルサービス協会京都事業所 松下 恵さん

高齢者事業は、元々は建交労が労働組合として高齢者雇用を確立し、先駆けとなる東京しごと財団が東京都に要請し、シルバー人材センターとなった歴史的経緯がある。「シルバー以外の団体への予算確保は難しい」と言

われると、公平・平等ではない。高齢者が増え、年金が減り、多様な働き方が必要となっている。

ひきこもり、長期離職者等の就労支援、生活自立支援の制度の理解、相談支援従事者が学べる機会を妨げない具体的対策の普及、指導の強化の必要性を訴えました。

介護保険事業については、山間部では介護保険サービスが届いていない。同じように保険料を支払っているにも関わらず、サービスが受けられない状況ができています。様々な加算が増え、お金になる人は過剰にサービスが提供され、遠方で送迎に時間がかかり、お金にならない人には必要

なサービスも提供できない状況が作り上げられている。誰がどのように仕向けたのか。

ケアマネは事務員と認識されているのか？ 介護保険サービスで賄えないことは、何でもケアマネに押し付けている。各事業者の派遣時間以外の訪問、身体介護、家財道具等の見積りなど、何でもしなければならぬ。夜中にも電話が鳴る。これでもケアマネは介護要員ではないと認識しているのか。

色々な要求をしてきたが、いつも「検討します」と言われるだけで何も進まない。本当に検討されているのか？ 等といった意見が出ました。

現場のリアルな状況が少しでも届いて、改善の方向につながると思います。



▲衆議院第一議員会館にて

# 京都市政への懇談会 福山和人弁護士を招いて

11月8日午後、支部執行委員会を終えた後、執行委員のほか組合員も加わって15名が、京都市長選挙に出馬を表明された福山和人弁護士をお招きして、約40分間、京都市政についての懇談会を行いました。

ソーシャルサービス協会京都事業所 松下 恵さん

## 市民サービスの低下

参加者 敬老乗車証の大幅な負担増や、ヘルスピアなど市営施設の閉鎖が続ぎ、市民サービスが低下した。これらにより今までの人との繋がりが閉ざされた。ウチの親も出掛けなくなつて、筋力が落ちた。福山 市民の方から一番多い意見。



京都市の歳出が年間9300億円に対して、敬老乗車証などの予算が100億円としても1%程度。本当に財政を圧迫してい

るのかどうか。

## 高齢者の就労事業について

参加者 人員の確保が難しい。また請負単価の見直しが進まないのので、経営が厳しい状況が続いている。

福山 京都市の仕事発注については、随意契約が競争入札になった。入札では、前年の請負金額が前提になつて、受注単価が上らない要因にもなっている。不完全な公契約条例の見直しが必要。

## 介護保険事業について

参加者 介護保険事業が区役所から1カ所に集約され、民間委託されて4年。サービスの質は落とさな

いと言ってきたが、本当に約束は守られているのか？

福山 引き続き、介護現場の状況については話を伺いたい。

## 京都市政再生の担い手

福山 徹底的な情報公開で市民に対して様々な市政課題を問いかけ、圧倒的な市民の世論を背景に、新旧・反体勢力をはねつけて、市政刷新に向かいたい。

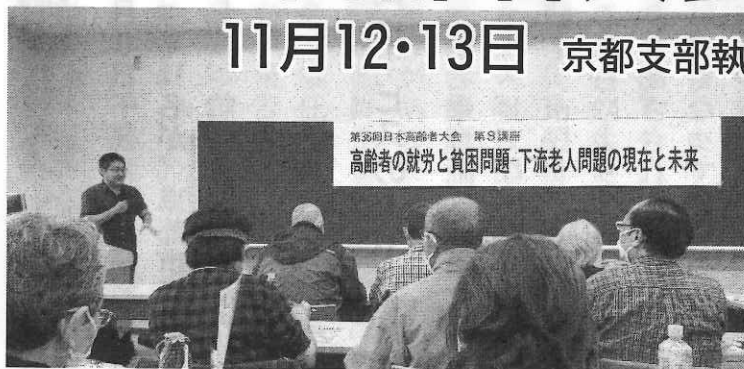
\*\*\*

私事ではありますが、前回の市長選挙の際は京都市の嘱託職員だったこともあり、福山さんと一緒に闘った経緯があります。今回は弁護士としての立場からもお話があり、貴重な意見交換の場になりました。



# 日本高齢者大会in東京

11月12・13日 京都支部執行委員長 松永雅明さん



▲学習講座での講演の様子

今年の大会スローガンは「ストップ軍拡、かがやけ人権」。会場は東京都豊島区の大正大学と、文京区の文教シビックホールでした。1日目は、13の学習講座、14の分科会で、

テーマは「戦争する国にしているのか」「私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるのか」「沖縄と全国の米軍基地問題」「日本高齢者人権宣言をどう生かすか」など。

私は第8学習講座「高齢者の就労と貧困問題」に参加しました。講師は『下流老人』著者の藤田孝典さん。少ない年金、貧しい社会保障制度、政府の経済無策のもとで、ますます高齢者の生活環境が悪化している。また世代間の対立を煽って、高齢者に我慢を強いている。全世代と共有して攻撃をはねかえそう、と講演されました。

2日目の記念講演は、元防衛庁運用局長の柳澤協二さん。「非戦の安全保障論：戦争しない国であり続け

るために」。対立しても戦争にはしない、戦争は防げる、などを話されました。

大会実行委員会の畑中久明さんから東京大会の意義を、①高齢者が若者など多世代と手を結び、憲法を生きかし平和、生存権を守る。②日本高齢者人権宣言採択から1年経過、宣言を学び闘いに生かす。③全国で高齢期運動を広げ、根付かせよう、と報告されました。

参加者歓迎の文化企画は、日本シニア合唱団の歌声、前進座の歌舞伎時代劇が披露されました。文化企画後、全体会にもどり、1日目の分科会から3つのまとめ報告が行われ、最後に大会アピールを採択し、全日程を終えました。

## 日本高齢者大会への代表派遣カンパのご報告

10月より取り組みました「日本高齢者大会in東京」への代表派遣カンパにつきましては、30名の方から合計2万8780円を寄せくださり、参加費と旅費に充当させていただきました。大変有難うございました。

# 高齢者の就労と貧困問題 下流老人の現在と未来

11月12日 日本高齢者大会での藤田孝典聖学院大准教授の講演

講師の藤田先生が『下流老人』を出版してから7年、現在の高齢者の実態は、年金や生活保護基準が下げられ、逆に健康保険、介護保険、国保など費用負担が増加し、物価の高騰で貧困率がさらに高くなっている。

## 高齢者の生活実態は

高齢者3千万人の内、1千万人が生活保護基準以下。生活困窮・貧困状態の内、20%が高齢者。

高齢者の犯罪検挙数でも、無銭飲食や万引きなど、数千円から数万円の犯罪が多い。高齢者を取り巻く事件も、2015年新幹線内で年金生活者を苦しめた火災を起す。2016年にスキーバスで自動車事故。認知症の家族が一家で川に飛び込む、等々。60から80歳の人は人生百年時代といわれ、90歳以上の親の介護と、就

職氷河期時代の子供たちの生活を見なければならぬ状態、働く高齢者が増えている。女性の一人暮らしが増え、夫の遺産・預貯金が底をついたら生活保護を申請する。

税負担を軽くしていかねば、可処分所得が下がっている。

## 政府の無策ぶり

政府は「生きがいのために高齢者が働くことはいいことだ」というが、年金が少なく、働かなければ生活できない状態に追い込まれている。

若者と高齢者を争わせ「年金を引き下げ、子育て費用に回せ」などという人がいるが、高齢者も大変だが若い人たちも住宅、子育て、教育などの費用負担で大変。

大企業は法人税が低く抑えられ、大きな利益を上げている。政府は、

お金を持っているところから社会保障などの費用に回す政策を作る調整役だが、行おうとしていない。

欧州などでは、貧困率を下げるために社会保障などを充実させる政策を取っているのに、日本政府はこれらを見ながら、ほとんどやらない。

## 声を上げ、次世代へつなごう

日本政府の政策は失敗であるが、それを言う人が少なく「年金引き上げ」「社会保障政策の充実」「物価引き下げ」の声が小さい。年金裁判や生存権裁判、社会運動で声を大にしなければ、政府に通じない。

全ての人々が安心して暮らせる社会をつくるには、社会運動や労働運動、裁判闘争を強めるしかない。大いに頑張り、次の世代に引き継いでいくことが未来につながる。

年金の不足分を、高齢者事業団で働いて生活する多くの人たちと共に運動を続けることが重要と強く感じました。(京都支部OB・中村崇さん)



# 建交労京都支部宇治分会

## 宇治分会 第7回定期大会を開催

宇治分会副分会長（京都支部執行委員） 嘉村 茂さん

宇治分会では、12月2日(土)午前10時から、宇治高齢者事業団事務所に於て、第7回定期大会を開催致しましたので、報告します。

大会は、山本分会長の挨拶に続き、議長に小林副分会長を選任し、京都支部執行委員長の松永氏より挨拶をいただき、一般社団法人宇治高齢者事業団の加藤代表理事より来賓の挨拶がありました。

選挙管理委員長嘉村から、出席者42名（委任状を含む）で大会の成立が報告され、2022年度の活動報告に続き、活発な質疑討論がおこなわれました。

今大会では、駐輪場公募に関して宇治市役所への要求書提出等々、多大な実績と数々の功績

### 2023年度 宇治分会役員

選出されました分会役員は次の通りです。

- 宇治分会長 山本 潔 (現)  
(JR新田駐輪場)
- 副分会長 小林 義治 (現)  
(緑化土木)
- 副分会長 嘉村 茂 (現)  
(京阪木幡駐輪場)
- 分会書記長 大橋 良夫 (新)  
(京阪三室戸駐輪場)

を残された木谷満夫書記長が勇退されました。新たに大手労働組合経験者の三室戸駐輪場管理人の大橋良夫氏の新任が、全会一致で承認されました。  
最後に、山本分会長のガンバロー三唱で、滞りなく終わりました。



### 12月のまちがいさがし

2つの絵で違いが8カ所あります。  
(答えは10ページ)



# 日常のこと

## 日常のこと

ソーシャルサービス協会京都事業所 松下 恵さん

「このこの場をお借りして「日常のこと」を書き始めて、1年になりました。書き始めた頃、「日常のこと」は、1年限りで終了するつもりでした。

と、いうのも、令和のこの時代に考えられないような出来事が職場の中で起こっており、職場が崩壊し、強制終了すると思っていたのです。

職場の混乱から、警察署、検察庁、労基署調査、労働委員会と、予測もしていなかった人物や、場所、物事と関わり……もう、二度と経験したくないけれども、未解決ということ、問題は年越し。

「仕事中に階段から落ちてしまい、骨折とねん挫してしまうということもありました。ねん挫も骨折も人生初のことでして……まあ、これが、

痛くて痛くて痛くて……。こんな痛みが世の中にあるのかと思つた程で……これもまあ、二度と経験したくない出来事でしたね。

辛いことに、これも痛み止めを貰い、眠剤も貰つて、一晩寝たら昨夜の痛みはすっかり消えてしまい、骨折も治つたのかと……そんな訳はないのですが。

職場は、組合の方々を中心に沢山の方のご支援、ご協力により、何とかこの1年を乗り越えてきました。どうか、この令和の時代に合った働く環境を手に入れたいと思つています。

望むことは正常な事業運営です。介護職に限らず、どんどん働き手が不足し、仕事はあっても働き手がないといった状況になっています。

社会、家族、個人を取り巻く様々な環境、価値観に対応できる働き方や職場の環境を整えなければ、事業は発展していかないと思っています。来年は辰年。辰年ってどんな意味があるのかネットで調べたところ、大きく成長し形が整うと書いてありました。

皆様の「日常のこと」も上向きに素敵な1年になりますように。



新月 1月11日・やぎ座  
満月 1月26日・しし座

2024年元旦（京都市の場合）

市民薄明開始	午前6時36分45秒
初日の出	午前7時4分42秒
日の出の方位	110度7分
日の入り	午後4時55分27秒
市民薄明終了	午後5時23分24秒



## 京都の催事案内

有料行事を含む、イベント予定を拾ってみました。主催者の都合や天候等で、中止の場合があります。

12月21日(木) 終い弘法／東寺

12月22日(金)

冬至Ⅱ「ん」が2つ付く物を7つ食べる日  
ほっこりおかぼちや焚き／寂光院(大原)

12月23日(土)

第10回日展京都展／京都市京セラ美術館  
全国高等学校駅伝競走／西京極陸上競技場

12月24日(日)

官庁御用納め  
をけら詣り／八坂神社

12月31日(日)

お正月特別ガイドと特別茶菓子／無鄰菴  
小品盆栽フェア・雅風展／みやこめつせ

1月5日(金)

十日ゑびす大祭／恵美須神社(東山区)  
ウクライナ国立バレエ「ドン・キホーテ」

1月8日(月)

／ROOMシアター京都  
都道府県対抗女子駅伝／西京極陸上競技場

1月14日(日)

京都マラソン試走会ラン／阪急西京極駅前  
小豆粥で初春祝をう会／妙心寺塔頭東林院

1月15日(月)

初弘法／東寺  
京都ミュージアムロード／市内各文化施設

1月21日(日)

初天神／北野天満宮  
文化財防火デー

1月24日(水)

1月25日(木)

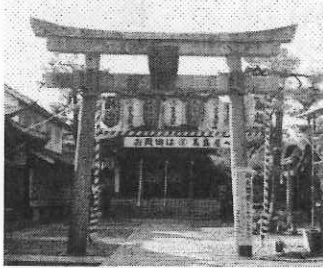
1月26日(金)

## 私家版風物詩 Ⅱ えびす信仰 Ⅱ

「えびす」は、七福神の中で唯一の日本古来の福の神。狩衣姿で右手に釣竿を持ち、左脇に鯛を抱える姿が一般的。海神、漁業の神様が、平安時代に市場の神様となり、中世に商業が発展すると、商売繁盛の神様となった。

### 1月8〜12日は、十日ゑびす大祭

東山区大和大路通四条下ルの恵比須神社は、神社の案内では「京都ゑびす神社」と書いてある。西宮神社、今宮戎神社と並んで日本三大えびすとのこと。「十日ゑびす大祭」は5日間にわたって行われる。午後5時の閉門がこの時は夜中まで、1月9日は夜通し開門される。コロナ前に行った時は凄く参詣者数で、大和大路通が車両通行止で歩行者は南行き一方通行、参拝して裏から出て、新道通が北行でした。そんな大きい神社ではないので境内は人でごった返し、福笹を買うのも一苦労。



▲京都ゑびす神社本殿  
えびす神は耳が遠いとされ、本殿正面を参拝した後、横に回って木の壁を叩いて祈願する。「優しくトントンと叩いてください」との張り紙ですが、皆さん平手でバンバン叩く。今宮戎では裏に回って銅鑼を叩くらしい。(山川)

# 行楽

## 山科・毘沙門堂から疏水路を散策

建交労京都支部OB 中村 崇さん



毘沙門堂極楽橋

曇り空で肌寒かったのですが、知人と少し歩きました。自宅から山科駅へ。朝10時前でしたが、駅前には外人観光客やハイキングの高齢者集団で人出は多く、山科地域の老人会ボランティアが観光案内などを行っていました。

私たちは駅の北側に出て、なだらかな坂を歩き出しました。疏水を越えて進むと毘沙門堂の入口となる石段があり、本来なら紅葉が素晴らしいのですが、今年は天候のせいかな、色合いは冴えないものでした。

毘沙門堂は、703年に文武天皇の勅願により開かれた天台宗の寺院です。当初は出雲橋近く（現在の御所北側）にあった「出雲寺」。戦乱や焼失を乗り越え、寛文5年（1665年）天海大僧正らが復興に尽力し、皇族で出家した親王が入寺する天台宗京都五箇室門跡の一つ。桜やモミジの名所として「毘沙さん」として親しまれています。



毘沙門堂門跡本殿



諸羽トンネル

見学を済ませて石段を下り、安朱橋を渡り「疏水路」に出て四宮方面へ。山科の街並みやモミジを眺めながら歩くと小さなトンネル「諸羽もろはトンネル」と紹介され、その前が「四宮船溜しのみやふなどまり」と書かれました。明治23年に竣工した第一疏水には、大津トンネル東口から蹴上インクラインに至る間、四宮、諸羽、御陵、日ノ岡、蹴上の5カ所に船溜ふなどまりが設けられた。船溜は水路の幅を広げて船をつなぎ留めるもので、荷物の積み下ろしや船頭の休憩場所として使われていました。当初、疏水路は四宮から安朱まで山裾に沿っていましたが、国鉄が京都草津間の輸送力増強、湖西線の建設のため、疏水路と軌道が接近し危険なため、四宮〜安朱までの水路をトンネルに変更し、昭和45年に完成した、と書かれました。このような背景があったとは知りませんでした。

更に疏水ベリを歩き進むと、少し紅葉で見栄えのする場所がありました。そこにはカメラを構えた人が少しでも良い場所をと真剣にシャッターを切っていました。さらに進むと「尾関越え」のハイキングコースですが、今日は「歩き・散策」が目的でしたので、この辺りで終わり。バスで山科駅に12時前に到着。暖かいコーヒーで温まって帰路につきました。



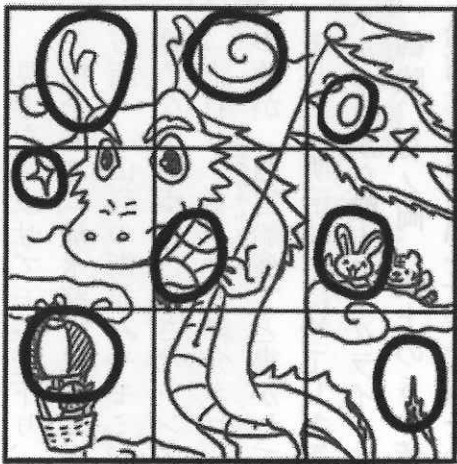
## 編後集記

今年も年の瀬となりました。年々、時の経つのが早く感じます。自分のこともさることながら、世の中の動きも大変激しい。ウクライナに続いて、パレスチナも戦争状態のまま年越するとは。▼今月は色々の行事があつて、参加された方々に報告をいただきました。久々の12ページ建でお届けすることになりました。

### 税 今年の漢字

12月12日、清水寺で発表された「今年の漢字」は「税」でした。物価対策の減税・給付論議、インボイスやふるさと納税の制度変更など税にまつわる話題が取り沙汰されたことを挙げている。▼岸田首相は「増税メカネ」と揶揄される。政府の重点政策の防衛力強化や少子化対策で、何れも増税で実行しようとするから、この物価高の状況下、支持率が下が

る。▼国民の平均年収が30年以上も横ばい状態の中、コロナ禍を脱して国は71兆円の過去最高の税收。そのなか岸田首相はガーナに7百億円、フィリピンに2千億円、エジプトに3百億円と、海外出張のたびにお金を渡してくる。▼大阪万博の費用負担のゴタゴタ、東京五輪での談合事件の逮捕者続出などを見ても、税金は「国民より預かっている大事なお金」という考えが、税金の使い道を決める方には無いんやろう。公務員や政治家は、国民の公僕であるという意識を大切にしてほしい。(や)



まちがいさがしのこたえ